

猫戀其二

田陽舎社中

一筋小成をひそゆきて猫は戀 路交
 塀間や何ふく写ねこのあひ 其峰
 くりくくと進つ進たれ川猫の意 素文
 閑於戸や春う啼ふを猫乃戀 文調
 毛猫ひや恋する猫は片思ひ 迂哉
 窓先や春うまて猫のあまゝ 素楪

八尾

鳴於てまつあもむゆのー猫は戀 嶺花
 雨は春や春うまめやふねこのあひ 甫文
 出嬉ひハ春うまのうまき 猫 雨桂

物陰や思ふと刀くして猫のつ乃 麻青菴

天明壬寅の冬ー 越富山

